



令和元年10月31日  
海上保安庁

## 海洋プラスチックごみについて考えよう!! うみがめマリンからのお願い ～ららぽーと豊洲で環境紙芝居の原画展及び朗読会を行います～

この度、海上保安官が作成した環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」が、公益財団法人 日本財団の協力※を得てリニューアルされたことから、その紙芝居の作者が参加し、原画展を開催するとともに、会場で紙芝居の朗読会を行います。ぜひこの機会にお子様と海洋環境問題について考えてみてはいかがでしょうか。

※日本財団の”これ以上海にごみを出さない”という社会全体の意識を高めることを目的とした「CHANGE FOR THE BLUE」プロジェクトの一環として、同財団の協力を受け環境紙芝居のリニューアルを行いました。また、本原画展開催も協力を受けています。



### 1 環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」とは

海上保安庁では、全国の小学校や幼稚園・保育園を訪問し、環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」の朗読会を行っています。この取り組みを通じて、次世代を担う子供達に対し、身近なごみが海洋汚染に結びつく現状について考える機会を提供し、海洋環境保全思想の普及を図るとともに、海上保安業務への理解の促進を図っています。



#### (ストーリー概要)

きれいな海で生まれ育ったウミガメの「マリン」。夏休みに街から遊びに来てくれた子供たちともう一度遊びたくて、街をめざす。ようやくたどり着いた街の海にはたくさんのゴミ。そのゴミをクラゲと間違えて食べたマリンに異変が…。



### 2 原画展及び朗読会日時

令和元年11月9日(土)及び10日(日)

(1)原画展:午前10時～午後9時

(2)朗読会:午前10時半～午前11時、午後2時～午後2時半

(そのほか適宜実施します。)

### 3 展示場所

アーバンドック ららぽーと豊洲1階 カードデスク前イベントスペース

(江東区豊洲2-4-9)

※会場には第20回「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の展示会を併設します。今般、本コンクールの第20回を記念して、本年度限りの特別賞として「うみがめマリン賞」が設けられ、環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」の作者がその審査をつとめています。

### 4 環境紙芝居作者

神戸海上保安部次長 大待 雄治郎(おおまち ゆうじろう)

## 環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」作者プロフィール等



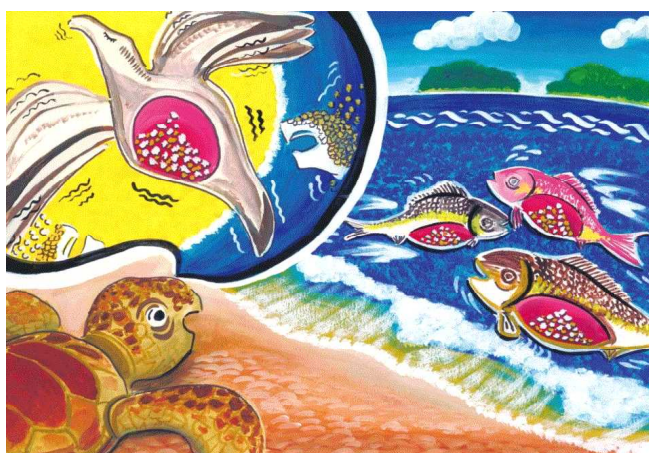
**大待 雄治郎(おおまち ゆうじろう)**

昭和34年神戸市生まれ。昭和55年に海上保安学校(本科航海課程)を卒業後、現職(神戸海上保安部次長)に至るまで、主に近畿地方を管轄する第五管区にて勤務。

平成8年、大阪海上保安監部海上環境係勤務時代に、幼稚園で園児に対して海洋環境保全啓発活動を行うこととなり、効果的な手法について悩んだ結果、幼い子供達には視覚と語りで伝える紙芝居を行うこととし、環境紙芝居「海をきれいに！(副題:いちろうくんの空き缶物語)」を製作。当初は原画を持ち歩いて上演、次第にカラーコピーによる増刷で近隣海上保安部署に波及。

平成12年、環境紙芝居2作目となる「うみがめマリンの大冒険」を製作。本作品は、全国の海上保安部署に展開され、幼稚園や保育園等で上演。

また、近年、海洋プラスチックごみ問題の世界的な関心の高まりを受け、令和元年5月のリニューアル版で、マイクロプラスチックが生態系に与える影響について分かりやすく描写した一幕を追加。



～作者からのコメント～

これからもこの作品が、未来を担う多くの子供たちに海洋環境保全の大切さを伝え続けることを願って止みません。